

第3章 高齢者福祉計画の基本方針、基本事業、主要・各事業

	実績			推計実績	計画値			
	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成37年度 (2025年度)
第3節 生涯現役社会づくりの推進								
1 高齢者の地域、ボランティア活動への参加促進事業								
(1) 介護支援ボランティア活動事業								
第1号被保険者 活動ポイント数	7,123ポイント	7,914ポイント	9,225ポイント	9,300ポイント	7,900ポイント	8,000ポイント	8,100ポイント	8,600ポイント
第2号被保険者 活動ポイント数	1,097ポイント	1,302ポイント	1,010ポイント	1,050ポイント	2,100ポイント	2,150ポイント	2,200ポイント	2,450ポイント
第1号被保険者 登録者数	178人	171人	220人	230人	175人	180人	185人	210人
第2号被保険者 登録者数	27人	30人	41人	45人	40人	45人	50人	75人
2 高齢者の活動拠点の確保・生きがいづくり推進事業								
(4) 生きがいと健康づくり推進事業								
老人クラブ大会 参加者数	411人	396人	354人	313人	425人	450人	475人	600人
グラウンドゴルフ大会 参加者数	183人	159人	171人	175人	195人	205人	215人	265人
スポーツ大会 参加者数	501人	502人	453人	393人	530人	555人	580人	705人
進捗状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援ボランティア活動事業については、第2号被保険者(40歳～64歳)の活動ポイントが計画値を下回っており、他の項目は計画値以上で推移しています。 ・生きがいと健康づくり推進事業は、計画値を下回っています。 							
要因及び今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援ボランティア活動事業の第2号被保険者については、仕事を持っておられる方が多く、時間的にも頻回な活動が困難なことが要因として考えられます。今後の方針としては、第2号被保険者の方が、第1号被保険者になっても、介護ボランティア活動を引き続き行ってもらえるよう、今後も事業の周知に努める等、事業委託先の社会福祉協議会とも連携して参加者及び対象施設の増加を図っていきたくと考えています。 ・生きがいと健康づくり推進事業については、老人クラブ、老人クラブ数の減少及び老人クラブ会員の高齢化等が要因と考えられます。今後の方針としては、今後も事業の周知に努める等、事業委託先の社会福祉協議会と連携して参加者の増加を図っていきたくと考えております。 							
第4節 高齢になっても住みよい地域づくり								
1 地域包括支援センター運営事業								
(2) 包括的・継続的ケアマネジメント事業								
地域ケア会議(事例検討部会) 開催回数	10回	7回	7回	7回	11回	11回	11回	11回
介護予防のための地域ケア会議 個別会議 開催回数	3回(準備会)	14回	21回	19回	24回	24回	24回	24回
介護予防のための地域ケア会議 個別会議取り扱い事例件数	16事例	84事例	125事例	75事例	144事例	144事例	144事例	144事例
2 在宅医療・介護連携推進事業								
(1) 医療介護関係者連携強化体制推進事業								
多職種連携研修会 の開催回数	2回	3回	3回	3回	3回	3回	3回	3回
多職種連携研修会 参加延べ人数	318人	460人	547人	483人				
在宅医療・介護連携推進協議会 の開催回数	1回	11回	9回	8回	10回	10回	10回	10回
3 生活支援サービスの体制整備事業								
(1) 生活支援サービスの体制整備								
生活支援コーディネーター数	1人	1人	5人	6人	13人	13人	13人	13人
(内第二層)	(0人)	(0人)	(4人)	(5人)	(12人)	(12人)	(12人)	(12人)
協議体設置数	1か所	1か所	5か所	6か所	13か所	13か所	13か所	13か所
(内第二層)	(0か所)	(0か所)	(4か所)	(5か所)	(12か所)	(12か所)	(12か所)	(12か所)
フォーラム等開催回数	-	-	1回	3回	12回	12回	12回	12回
5 高齢者の居住、生活環境の整備事業								
(11) 高齢者緊急時見守り事業								
安心相談ナースホン事業 利用者数	266人	297人	329人	343人	315人	333人	351人	441人
(14) 家族介護支援事業								
参加者数	61人	65人	57人	47人	65人	65人	65人	75人
進捗状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議では、介護支援専門員のケアマネジメントを通して地域の高齢者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう、多職種が協働し個別ケースの検討から地域課題の抽出し、地域づくりへつなげる取組を行っています。令和元年度もほぼ計画通り実施されております。 ・在宅医療・介護連携推進事業では、多職種研修会を中心に地域の専門職のネットワークを構築し、地域の高齢者が住み慣れた地域で人生の最期まで生活できるよう、在宅医療と介護を一体的に提供する体制の構築に努めています。多職種連携研修会には多くの専門職が参加しています。令和元年度は、入退院時の連携ルールや、社会資源リストを作成するなどして多職種連携の推進に取り組みました。 ・生活支援サービスの体制整備事業では、今年度から市社会福祉協議会に委託し連携しながら取り組んでいます。計画値を下回っていますが、ほぼ全地区に生活支援コーディネーター予定者がいる状況です。 ・高齢者緊急時見守り事業は計画値を上回っており、家族介護支援事業は計画値を下回っています。 							

	実績			推計実績	計画値			
	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成37年度 (2025年度)
要因及び今後の方針	<p>・地域ケア会議を活用することで、地域の介護支援専門員のケアマネジメント支援を行うとともに、高齢者が地域で安心して暮らし続けられるよう、医療・介護の連携強化を推進していきます。</p> <p>・第2層協議体は地区社協を母体としているので総会で承認され設置に至る予定です。設置されない地区については引き続き働きかけ全地区の設置を目指していきます。</p> <p>・高齢者緊急時見守り事業については、現在安心相談ナースホン事業を行っており、今後もより利用者が増加するように努めます。具体的にはこれまでと同様、広報、ホームページでの周知、高齢者保健福祉実態調査にナースホンの項目を独立して作り、民生委員の方にチラシを配布してもらうことで、内容の周知を図っていききたいと思います。</p> <p>・家族介護支援事業については、新規で申し込みをされる方が少ない(11人)ことが要因と考えられます。</p> <p>今後の方針としては、今後も広報・ホームページ・ケアマネージャーからの周知を図る等、事業委託先の社会福祉協議会と連携し参加者の増加を図っていききたいと思います。</p>							

第5節 介護予防の推進

1 高齢者の介護予防事業								
(2) 地域介護予防活動支援事業								
住民運営通いの場の設置箇所数 (いきいき百歳体操実施)	34か所	51か所	68か所	78か所	58か所	67か所	76か所	121か所
住民運営通いの場の設置箇所数 (脳いきいきクラブ実施)	8か所	8か所	9か所	10か所	12か所	14か所	16か所	26か所
(3) 介護予防応援隊養成事業								
介護予防応援隊養成講座開催回数	7回	6回	8回	5回	6回	6回	6回	6回
介護予防応援隊登録者 延べ人数	52人	73人	81人	112人	92人	112人	132人	220人
(5) 認知症予防事業								
あたまの健康チェック受検者数	177人	266人	271人	163人	600人	600人	600人	600人
あたまの若返り教室開催回数	1回	1回	3回	2回	3回	3回	3回	3回
2 総合事業の体制推進事業								
(1) 訪問型サービス(第一号訪問事業)								
予防給付型 (訪問介護相当サービス)	—	729件	1,462件	1,471件	1,740件	1,764件	1,788件	1,786件
生活維持型1及び生活維持型2 (訪問型サービスA)	—	130件	67件	0件	444件	456件	456件	468件
地域ふれあい型 (訪問型サービスB)	—	0件	0件	16件	120件	120件	120件	123件
(2) 通所型サービス(第一号通所事業)								
予防給付型 (通所介護相当サービス)	—	1,149件	2,612件	3,066件	2,592件	2,628件	2,664件	2,734件
生活維持型及び短時間型 (通所型サービスA)	—	530件	1,685件	1,644件	2,412件	2,448件	2,484件	2,549件
地域ふれあい型 (通所型サービスB)	—	0件	0件	0件	120件	120件	120件	123件
(3) 介護予防ケアマネジメント(第一号介護予防支援事業)								
介護予防ケアマネジメントの 延べ件数	—	1,922件	3,710件	3,752件	3,454件	3,485件	3,519件	3,501件
進捗状況等	<p>・いきいき百歳体操を実施する住民運営通いの場は、計画値よりも多く設置が進んでいます。地域住民のロコミや、協議体整備に伴う住民への周知の機会が増えていることが要因の一つであると考えられます。</p> <p>・認知症予防を実施する脳いきいきクラブは計画値よりも少ない設置となっています。今後も積極的な周知を行うとともに、多様な取組を行う通いの場の設置に向けた取組が必要と思われます。</p> <p>・介護予防応援隊については、令和元年度31人を養成し、目標を達成しています。今後も養成講座の周知に努め、多くの市民に受講していただくことで、地域の介護予防活動の推進に取り組む必要があります。</p> <p>・あたまの健康チェックは、平成29年度の実績を踏まえ、平成30年度の目標値を300人に見直しましたが、目標値よりも少ない受検者となりました。今後も認知症の早期発見や対応の重要性を広く周知していく必要があります。</p> <p>・介護予防ケアマネジメントについては、介護予防支援から総合事業への移行に加え、要支援認定を受けずに総合事業のサービスを利用する方が増加しており、令和元年度では計画値よりも多い件数となっています。</p> <p>・訪問型サービスは、概ね計画値を下回っており、通所型サービスは予防給付型は計画値を上回り、後は計画値を下回っています。</p>							

	実績			推計実績	計画値			
	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成37年度 (2025年度)
要因及び今後の方針	<p>・いきいき百歳体操については、地域住民のロコミや、協議体整備に伴う住民への周知の機会が増えていることが要因の一つであると考えられます。今後も積極的な周知及び設置の少ない地域への設置推進に努めたいと考えています。</p> <p>・介護予防ケアマネジメントについては、総合事業への移行が進んだことで計画値より多くなっていると考えられます。今後も介護予防や自立支援に資する適切なケアマネジメントを行っていきたいと考えています。</p> <p>・緩和型サービスである訪問型サービスの生活維持型1(訪問型サービスA)、生活維持型2(訪問型サービスA)及び通所型サービスの生活維持型(通所型サービスA)、短時間型(通所型サービスA)については、事業所が費用、人力的な面から事業を行うことが難しかったということが要因として考えられます。</p> <p>地域ふれあい型(訪問型サービスB及び通所型サービスB)については、1団体(訪問型サービス)が立ち上がり活動もされましたが、それ以外に立ち上がらなかったことが要因として考えられます。</p> <p>今後の方針としては、訪問型サービス(第一号訪問事業)、通所型サービス(第一号訪問事業)ともに、サービス提供事業所と協議を行う等、生活維持型、短時間型等の緩和型サービスの充実に努めたいと思います。また、地域ふれあい型Bの充実に向けて、今後もサービス提供者の把握及び育成に努めていきたいと考えております。</p>							
第6節 認知症施策の推進								
(2) 認知症に関する普及啓発事業								
認知症サポーター要請講座 受講者数	896人	795人	946人	1,233人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人
進捗状況 等	・令和元年度の認知症サポーター養成講座の受講者は計画値を上回っています。							
要因及び今後の方針	<p>・今後も認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、今後も認知症の普及啓発に力を入れていきたいと考えています。</p> <p>認知症サポーター養成講座については、広く市民や職域に対して必要性の周知を行うことで、講座の開催を増やしていくとともに、サポーターが地域で活動できるような体制づくりに取り組んでいきたいと考えています。</p>							
第7節 介護(予防)サービスの充実								
1 介護保険給付事業								
(5) 認知症予防事業指定介護予防支援業務								
介護予防サービス計画 (包括作成分延べ件数)	4,769件	3,679件						
介護予防サービス計画 (委託事業所作成分延べ件数)	2,326件	1,698件						
介護予防サービス計画			3,924件	4,299件	4,953件	4,998件	5,047件	5,021件
進捗状況 等	・総合事業の利用者が増えたことで要支援認定を受けない方の増加がみられるなど、計画値より介護予防サービス計画作成件数は減少しています。							
要因及び今後の方針	・総合事業の利用者への意向が進んだことで、介護予防サービス計画件数は減少しています。今後も介護予防・自立支援に資するケアマネジメントを実践を進めていきます。							
第8節 介護保険の円滑な運営								
1 介護給付・介護サービス適正化事業								
(2) 介護サービス給付費適正化事業								
介護給付適正化委員会等 開催回数	5回	5回	5回	5回	7回	7回	7回	7回
介護給付費通知書送付枚数	3,202枚	3,104枚	3,291枚	3,300枚	3,500枚	3,500枚	3,500枚	3,500枚
進捗状況 等	・介護給付適正化委員会の開催及び介護給付費通知書送付についてはおおむね計画通りに実施できています。							
要因及び今後の方針	・今後も利用者に対する適切な介護サービスが提供されるよう、ケアプランの点検やサービス利用確認のための給付費通知を行っていきたいと考えています							